

第23回家康公記念杯(清水スーパーシニアサッカー大会)参加報告(Rクラス)

第23回家康公記念杯が静岡県静岡市の清水区で2月28日、3月1日の2日間で開催されました。Rクラスは全国から18チームが参加し、1日目は3チームずつ6リーグに分かれたリーグ戦、2日目は順位決定戦が行われました。京都暁FCは1日目のリーグ戦で茅ヶ崎シニアを2対0、浜松怪童クラブを5対0で下し、Fリーグを1位通過しました。2日目は、D、E、Fリーグの1位3チームによる順位決定リーグが行われました。埼玉シニアには1対2で惜敗し、清水新星クラブには1対1と引分けました。1分1敗で清水新星クラブと同勝点になりましたが、得失点差で2位となりました。埼玉シニアは今年のO-70の関東予選を1位で通過した強豪でしたが、拮抗した試合ができました。また、清水新星クラブには後半攻め続けましたが、残念ながら決勝点を奪うことはできませんでした。

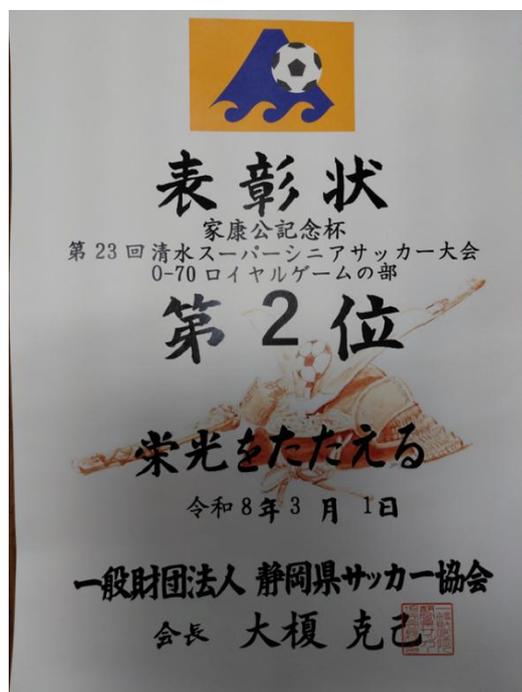
2日間、サッカーを堪能し、チーム力の手応えを感じた有意義な大会となりました。この大会は、例年、赤瀬さんが事務局との折衝、バス・宿の手配などをされています。赤瀬さんのお蔭で、全国の仲間と2日間サッカーを楽しむことができました。ここに記して感謝したいと思います。

Fブロック(蛇塚北グラウンド)

【北】	浜松怪童クラブ	京都暁FC	茅ヶ崎シニア	勝点	得点	失点	得失点差	順位
浜松怪童クラブ		× 0-5	× 1-5	0	1	10	-9	3
京都暁FC	○ 5-0		○ 2-0	6	7	0	+7	1
茅ヶ崎シニア	○ 5-1	× 0-2		3	5	3	+2	2

D・E・Fブロック【1位グループ】(蛇塚北グラウンド)

【北】	D-1:清水新星	E-1:埼玉シニア	F-1:京都暁	勝点	得点	失点	得失点差	順位
D-1:清水新星		× 0-3	△ 1-1	1	1	4	-3	3
E-1:埼玉シニア	○ 3-0		○ 2-1	6	5	1	+4	1
F-1:京都暁	△ 1-1	× 1-2		1	2	3	-1	2



京都暁 FC Rクラス試合結果報告 2026年

No. 5	開催日 2026. 2. 28 (土)	参加人数：13名	報告者： 兪
大会名：第23回家康公記念杯		会場：静岡市蛇塚北グラウンド	
第1試合 対戦相手：茅ヶ崎シニア 勝敗：○			
京都暁R 2 $\left[\begin{array}{cc} 0 - 0 \\ 2 - 0 \end{array} \right]$ 0 茅ヶ崎シニア			

得点者：高田 1、亀田 1

講評：

初対戦であり、相手の力や特徴がわからない中、「先に失点をしないこと」を第一に試合に臨んだ。前半は、相手に攻め込まれることもあったが、ほぼ互角の展開で、0対0で終わった。後半になると、ボール支配率が高まり、チャンスが造れるようになり、高田さんのクリーンシュート、高田さんのクロスから亀田さんのゴールと2得点を挙げた。守備は、嶋津 GK を中心に安定して守り切り、試合プラン通りに2対0で勝ち切った良い試合であった。今年に入り5戦目でやっと初勝利をあげることができた。

参加メンバーと布陣



京都暁 FC Rクラス試合結果報告 2026年

No. 6	開催日 2026. 2. 28 (土)	参加人数：13名	報告者：兪
大会名：第23回家康公記念杯		会場：静岡市蛇塚北グラウンド	
第2試合 対戦相手：浜松怪童クラブ 勝敗：○			
京都暁R 5 $\left[\begin{array}{cc} 2 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{array} \right]$ 0 浜松怪童クラブ			

得点者：高田2、小林1、牛場2

講評：

第1試合で山本さんがアキレス腱を傷めたため、この試合は、実質12名で臨むことになった。浜松怪童クラブとは昨年もこの大会で戦っているため、チームの特徴などもある程度把握していた。前試合と同様、「先に失点しないこと」を第一に試合に臨んだ。

ボールの支配率で相手を上回ったうえ、シュートも的確で5対0と久しぶりの快勝となった。この結果、2勝0敗で所属するFリーグ1位となり、翌日はD,Eリーグの1位と3チームでリーグ戦を行い、順位決定を行うことになった。

参加メンバーと布陣



京都暁 FC Rクラス試合結果報告 2026年

No. 7	開催日 2026. 3. 1 (日)	参加人数：13名	報告者： 兪
大会名：第23回家康公記念杯		会場：静岡市蛇塚北グラウンド	
第1試合 対戦相手：埼玉シニア 勝敗：×			
京都暁R 1 $\left[\begin{array}{c} 0 - 2 \\ 1 - 0 \end{array} \right]$ 2 埼玉シニア			
得点者：牛場 1			
講評： 埼玉シニアは、今年の開東地区予選を1位で通過した強豪である。試合当初から一方的に攻め立てられ、パスミスやクリアミスを拾われ、2失点を喫した。相手のプレスに屈し、パスがつながらず、自陣内での戦いを強いられた。ただ、高田さんのシュートがバーにあたるなど、チャンスもあった。 後半になるとほぼ互角の戦いとなり、パスもつながるようになり、牛場さんのコーナーキックが直接ゴールインし、1点差となった。その後も決定的なチャンスや逆に危ない場面もあったが、両チームとも得点を挙げられずに2対1のまま、試合は終了した。 この試合の反省点は、押し込まれた前半に簡単に2失点を喫したことである。押し込まれても粘り強く守ることで、勝ちにつなげることも可能だったと思う。GK, DF はもちろんMF, FWも一体となって守備を行って最少失点にとどめることが勝利の必須条件である。			
参加メンバーと布陣			

京都暁 FC Rクラス試合結果報告 2026年

No. 8	開催日 2026. 3. 1 (日)	参加人数：13名	報告者：兪
大会名：第23回家康公記念杯		会場：静岡市蛇塚北グラウンド	
第2試合 対戦相手：清水新星童クラブ 勝敗：△			
京都暁R 1 $\left[\begin{array}{cc} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{array} \right]$ 1 清水新星クラブ			

得点者： 林俊 1

講評：

第1試合で赤瀬さんが接触プレーで負傷したため、この試合は実質11名で臨むことになった。前半の失点は相手のフリーキックからである。中盤からのフリーキックをバック裏に蹴られ、走り込んだ相手FWに直接決められた。昨年の家康公記念杯でも同様な失点があったが、フリーキックになった際に集中力が切れることがある。フリーキックの位置とキッカー、それからマークする相手に集中し、早めにいいポジションをとれば、この失点は防げたと思う。

地力では暁が相手を上回っており、後半は一方的に攻め立てたが、シュートがGK正面をついたり、バーにあたるなどして、結局は林さんの1得点に終わった。この結果、1位チームによるリーグ戦は1分1敗となったが、得失点差で2位になった。1位埼玉シニア、2位暁、3位清水新星である。

参加メンバーと布陣

